

テレビ会議システムを活用した小学校での進路指導（3）

～ 通学区域自由化に伴う学校情報提供の試み ～

豊吉 博義^{*1}

<概要> 1999年10月、岐阜県本巣郡穂積町の教育委員会は、2000年度から町内の4小学校（穂積・牛牧・生津・本田）と2中学校（穂積・穂積北）で、「通学区域の自由化」を実施すると発表した。そこで、テレビ会議システムを利用して、穂積中学校の学校情報を穂積小学校・牛牧小学校の6年生全員に提供する多地点テレビ会議を試みた。テレビ会議後の小学生の感想から、テレビ会議システムを利用することで、個のニーズに応じた学校情報を提供できることが明らかになった。

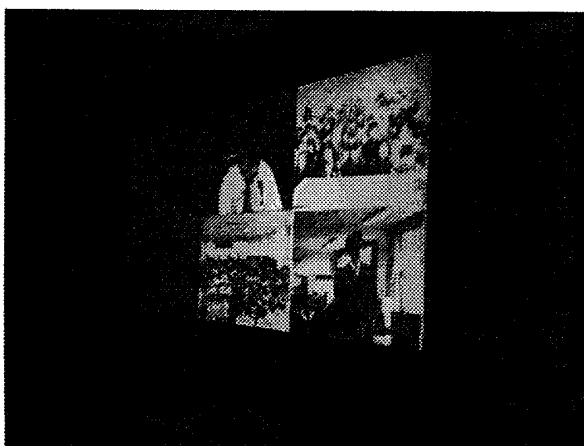
<キーワード> テレビ会議システム、多地点テレビ会議、進路指導、通学区域自由化

1 はじめに

筆者が勤務する岐阜県本巣郡穂積町では、今年度（2000年度）より、「通学区域の自由化」が実施されている。具体的には、小中学校に入学する新1年生が、通学する小中学校を自由に選択できるというものである。

穂積町の場合、新1年生は穂積・牛牧・生津・本田の4小学校と穂積・穂積北の2中学校を選択できるようになった。

そこで、筆者は多地点テレビ会議システム¹⁾を利用し、中学校の情報を、直接小学生に提供する実践を試みた。



（写真1） 穂積中学校・穂積小学校・牛牧小学校の多地点テレビ会議の画面

2 テレビ会議の概要

今回のテレビ会議は、1999年12月16日に、穂積・牛牧小学校の6年生に穂積中学校の様子を紹介する目的で、穂積中学校・穂積小学校・牛牧小学校・NTT西日本マルチメディア館イオの4ヶ所を結んで実施した。

講師は、穂積中学校の教師1人・生徒6人（生徒会役員）が務めた。穂積小学校では6年生4学級（143人）と教師9名が参加した。牛牧小学校では、6年生2学級（76人）と教師7名が参加した。

テレビ会議では、まず穂積中学校の教師・生徒が中学校での学習・生会会活動・部活動などの紹介（20分間）を行った。その後、穂積小学校と牛牧小学校の6年生と中学校の教師・中学生が質疑応答（10分間）を行った。

3 小学生から中学校への質問内容

各小学校で事前に「中学校に質問したいことは何か」という質問紙調査を6年生全員に実施した。実際のテレビ会議では、次のような質問を行った。

（学習面）

- ・ 教科担任制とはどんなものか
- ・ 学校の授業についていけるのか
- ・ 英語の授業はどのように行われるか
- ・ 家庭での学習時間はどれぐらい必要か

*1 岐阜県本巣郡穂積町立穂積小学校 htoyoshi@catv1.ccn-net.ne.jp

(生活面)

- ・ 穂積中学校の特徴は何か
- ・ 生徒会活動は活発か
- ・ 委員会にはどんなものがあるか
- ・ どんな校則があるのか
- ・ 部活動の時間と練習内容
- ・ 今、中学校では、「いじめ」はあるのか

4 授業後の小学生の感想

授業後の小学生の感想は、以下のようであった。

- ・ 「英語の授業についていけるのかな」ととても心配していたが、塾に行かなくてもついていけるということを教えてもらえたので、安心した。
- ・ 生徒会活動には、楽しそうな行事がたくさんあることがわかり、とてもよかった。
- ・ 私は部活動がとても楽しみです。部活動について紹介してくれた先輩たちと一緒に4月から活動するのが、今からとっても楽しみです、ワクワクしています。
- ・ 中学校には、いじめがあるといううわさをいろんな人から聞き、中学校に行くのがいやだったけど、テレビ会議では、先生や中学生の先輩たちの顔が優しく、だいぶ不安がなくなりました。
- ・ テレビの画面に他の学校の人たちが映っていて、とても真剣に話を聞いているようでした。他の学校の人たちも中学校のことを一緒に勉強しているんだと思いました。あの中には来年から、同じ中学校に行く人がいるんだなあと、中学校でもがんばろうという気になりました。

5 まとめ

(1) 成果

- ① 小学生が学校に居ながらにして、直接に中学生・教師から、学習・部活動などの中学校の様子を詳しく聞くことができ、一人一人のニーズに応じた学校情報を収集することができる。そのため、通学区域の自由化に伴う学校選択の有効な判断材料となる。
- ② 相手の顔や表情が見えるため、小学生が中学校に対して抱いている漠然とした不安をある程度解消できる。同時に、テレビ会

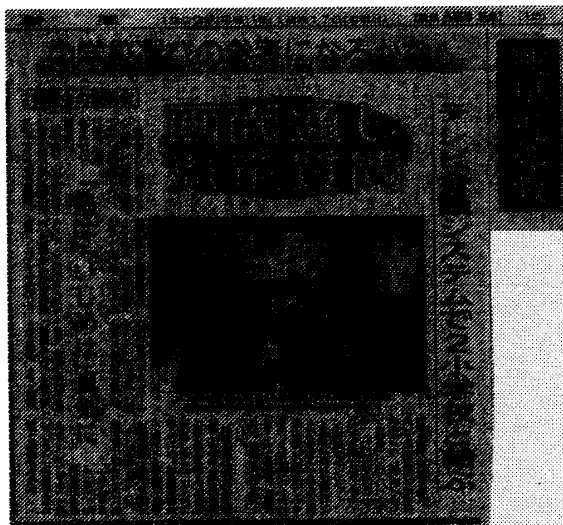
議の実施が、中学校でもがんばろうという意欲を小学生に喚起することができる。

- ③ 多地点テレビ会議は、他校の様子を見ることができるため、多くの仲間たちと共に学習をしているという連帯感が生まれる。

以上のことから、小学校でテレビ会議システムを利用した進路指導の可能性は大きいといえる。

(2) 課題

- ① 今回のテレビ会議では、当日までの3校の連絡・調整に、意外に手間取った。各学校間の連絡をいかにスムーズに行うかが重要である。
- ② 多地点のテレビ会議ではMCUという装置が必要となる。現段階では、MCUは高額であるため、どのように確保するかが問題である。



(資料1) 多地点テレビ会議を報じる
1999年12月17日の中日新聞

〈参考文献〉

- 1) 豊吉博義・中馬悟朗・村瀬康一郎・加藤直樹・伊藤宗親(2000), “テレビ会議を利用した進路指導に関する研究～中学校進路指導を中心に～”, 岐阜大学カリキュラム開発研究センター・データレポート290